

《鹿児島県》

さつまやき
【薩摩焼】



白薩摩



黒薩摩

【陶磁器の魅力はこんなところ！】

薩摩焼の発祥は、今から約 420 年前、朝鮮出兵に参加した島津義弘が多くの陶工を連れ帰ったことが始まりとされています。

薩摩焼は、「白もん」と呼ばれ象牙色の肌そうげに細かい貫入（ひび）が入り、繊細華麗な錦手や金襴手の上絵、精巧な透彫がほどこされた白薩摩と「黒もん」と言われる庶民のための生活の器として愛された漆黒の光沢をもち、素朴で剛健な温もりを感じさせる黒薩摩の2種類に大きく分類されます。

さらに、現代の薩摩焼では、白薩摩、黒薩摩といった伝統的な焼物の他にも、400年の伝統を活かしつつ新たな感性と技が創造する多種多様な焼物が生まれています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
第48回鹿児島陶芸展 (さつま春陶マルシェ)	令和2年7月28日(火) ~8月6日(木) ※3日は休館	かごしま県民交流センター	南日本新聞社 TEL:099-813-5053
第31回薩摩焼フェスタ	令和2年12月1日(火) ~6日(日)	かごしま県民交流センター	鹿児島県薩摩焼協同組合 TEL:099-294-9039